

## 平成30年度 第5回小淵沢地域委員会会議録

- 1 開催日時 平成30年12月13日（木曜日）  
午後4時00分開会～午後5時40分閉会
- 2 開催場所 小淵沢総合支所会議室
- 3 出席委員 花輪英明、今井一夫、宮坂 清、宮沢俊彦、佐藤 護、  
進藤雅房、山中真理子、浅川武彦、藤原真理、伊藤やよい、  
武藤三津子（敬称略） 11人
- 4 欠席委員 小林隆次、今井哲郎、中澤 規、岩崎 栄、岡安祐樹（敬称略）  
5人
- 5 事務局員 小淵沢総合支所長 中山晃彦  
地域市民課市民担当リーダー 天池富貴男  
地域市民課市民担当 向井祐馬  
健康増進課健康づくり担当リーダー 輿水秀子  
健康増進課健康づくり担当 堀内真理子
- 6 議 題 (1) 北杜市食生活改善推進員の活動内容等について  
(2) 平成31年度地域委員会予算使途提案事業の  
予算について  
(3) その他
- 7 公開・非公開の別 公開 ・ 非公開
- 8 傍聴人 0人
- 9 署 名 署名委員 10番 藤原 真理  
署名委員 13番 伊藤やよい
- 1 開会  
中山総合支所長から開会のあいさつ。

2 会長あいさつ

浅川武彦会長からあいさつ。

3 議事録署名人選出

(会長)

議事録署名人は、10番の藤原真理委員、13番の伊藤やよい委員を指名。

4 議題

(事務局)

北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定により、浅川会長に議長をお願いします。

(議長)

活発なご意見をいただきながら有意義な委員会となるよう、御協力をお願いします。なお、この会議は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第2条、「公開の原則」に基づいて開催されます。本日の議事内容には、非公開情報は含まれていませんので、公開といたします。よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(議長)

異議がございませんので、本日の会議は公開といたします。

なお、ご意見・質問などにつきましては、議題ごとに受けますのでよろしくをお願いします。

それでは、議題の(1)「北杜市食生活改善推進員の活動内容等について」ですが、説明をお願いします。

(健康増進課)

「北杜市食生活改善推進員の活動内容等について」資料に基づき説明。

(議長)

この件につきまして、質問や意見がありましたらお願いします。

(委員)

小淵沢の食生活改善推進員は、現在の人数で大丈夫ですか。

増員する必要はないでしょうか。

(健康増進課)

地区の推進員とも相談しまして、地区の配置人数等を確認して行っております。

(委員)

旧町村の流れをもって引き継いでいると認識しています。

(健康増進課)

それもあります。あと最近では女性が就労する時代となっているため、お勤めしながら活動していただくというのが難しくなっていますので、受け持ち世帯が多い町についてはもっと多くの方に、養成講習会を受けていただければと話をさせていただいておりますが、なかなか増えないのが課題です。

(委員)

講習時間は、何時間ありますか。

(健康増進課)

20時間あります。

(委員)

自由のある方じゃないと無理だと感じました。

(委員)

推進員の選考基準はありますか。

(健康増進課)

これといって基準はありません。

推進員の任期も70歳迄というところがあります。5年から10年と長い方もいらっしゃいます。そこで現役の会員から、こういう活動をしていることを話しをしていただき勧誘して頂ければ、次の方も長く活動していただけていると思います。

(委員)

推進員の要件は全くないというのは分かりました。さきほど、男性会員の方が入っているとお聞きしましたが、どのような男性が入ったのか教えていただきたい。

(健康増進課)

男性会員の方は、ご自身が病気をされて、健康管理ということから食事にも関心を持ちまして、地域の中で食生活改善推進員の存在を知り、自分の経験を踏まえた健康づくりの活動をしたいということで、養成講習会を受講し、会員となったという方です。

(委員)

推進員の平均年齢はいくつくらいですか。

(健康増進課)

平均年齢は、65歳前後だと思います。

(委員)

法律で講習会が20時間と決められているようですが簡素化して、地域地域で講習会を開催してもらえるように検討してもらえればありがたいです。

(委員)

やさしい介護教室や骨太クッキング等、どのように広報して、その会にどのくらい参加しているのかお尋ねしたい。また、高齢者配食サービスは、どうい

った方に月何回くらいしているのか、あと何人くらい配食しているのかお尋ねしたい。

(健康増進課)

料理教室等の活動は、主に公民館で実施されていまして、1回20名くらいで、多い時には30名くらいの参加があります。

高齢者配食サービスについては、武川地区で盛んに実施されていまして、80歳以上の一人暮らしで、年に4回くらいの配食をしながら、健康状態も確認しています。1回80食くらい配布している状況です。

(委員)

小淵沢地区で盛んに行われている活動とは、どのようなものがありますか。

(健康増進課)

小淵沢地区の福祉祭りでの食改推の役割が一番大きいです。また、その中で、健康作りの増進につながるようなメニューの提供をさせていただいている状況です。

(委員)

食改推の仕事が増えたと思いますが、教室等の開催とかはしていますか。

(健康増進課)

食改推さんだけで教室を開催するのは大変だという声を食改推さんからもいただいております。そこで、周知の回覧の方法等については、事務局でもサポートをしている状況です。あとは、専門的な栄養的な話を食事と一緒にセットで教室を開催したい場合は、栄養士も含めて対応させていただいております。

(委員)

夏祭りやイベント等に食改推にお願いして作ってもらっている。

食改推の仕事は、昔より増えているのが現状です。そこで食改推は、年間の手当では出ているのでしょうか。

(健康増進課)

年間手当の支給はありません。活動に関して、食材費を出しています。日当等は出していません。

(委員)

終戦直後、栄養推進委員というのがあり、女性が活躍する場面があったと思いますが。

(健康増進課)

山梨県の峡北地域に関しては、昭和39年くらいから個人として活動してきました。段々、団体として変化して食改推として活動しています。

(議長)

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

他に意見がないようでしたら、次に進みたいと思います。

それでは、(2) 議題の「平成31年度地域委員会使途提案事業予算」について、説明をお願いします。

(事務局)

地域委員会予算の編成にあたり基本的な考え方について説明します。平成31年度予算額については、前回の地域委員会での各団体に聞き取りをした結果及び委員の皆様のご意見を参考に先日、会長・副会長と検討会を開催し予算案を作成させていただきました。基本的な考えについて説明させていただきます。小淵沢町13,158千円となっており、平成30年度の予算と比較して52千円の減額となっております。その中で、活動内容や予算配分の検討を行い、既存事業の精査等を行うと同時に、市長が掲げる「子育てと福祉」・「雇用と産業」・「教育」・「スポーツと芸術」・「若者と女性の活躍」の5つの柱の主要事業を基に、予算使途提案事業において、既存事業の更なる推進に加えて、お宝いっぱい「健幸北杜」の具現化と地域活性化を図ることを予算編成の基本方針といたしました。

それでは、会議資料の3ページを御覧ください。

別紙①となりますが、小淵沢地域委員会予算使途(案)の総括表になります。

平成31年度は、13事業ということで、1事業減少しております。減少しているのは、小淵沢女性団体連絡協議会が解散したための事業数減となります。

まず総括表の1番から順に御説明をさせていただきたいと思っております。

資料1の八ヶ岳ホースショーinこぶちさわの運営に対する補助となります。

資料2のこぶち消費生活研究会では、食用油等再利用の研究や環境問題研究活動に対する活動を行っており、その活動に対する補助となっております。

資料3の伝統芸能である大和神楽の保存、伝承のため活動している久保大和神楽保存会に対する補助となっております。

資料4の小淵沢を代表する郷土民俗芸能である「淵の音太鼓」を保存、伝承のため活動している淵の音太鼓保存会に対する補助となっております。

資料5の各種福祉ボランティア団体の育成・活動支援や食育の普及を目的とした「食生活改善推進委員会」の活動に対する補助となっております。

資料6ですが、こちらは一人暮らしの80歳以上の高齢者の安否を確認しながら、食事の楽しみと栄養への関心を高めることを目的とした事業で、社会福祉協議会へ委託している事業となっております。

資料7ですが、13地区の分館福祉部で実施している福祉事業で、各分館福祉部では、福祉祭り等を行っており、その活動に対する補助となっております。

資料8「こぶちっこ応援事業」ですが、小淵沢小学校6年生を対象とした安心・安全な居場所づくりと学習習慣の定着を目的に実施している事業です。

平成30年度については、事業の開始年度ということで、備品購入費、消耗品費の購入をいたしましたので、60千円の減額となっております。

資料9ですが、男女共同参画社会の形成に向け、広報誌による啓発活動、男の料理教室や子育て支援等の実践活動を行っている「男女共生をすすめる会」に対する補助になっております。

資料10ですが、「小淵沢まちおこし事業」の説明をさせていただきます。

目的としましては、小淵沢の地域の活性化のために、毎月1回の話し合いの場を設けてきました。来年度は、話し合いで出てきた内容を具現化するための経費として30千円から48千円を上乗せしていただき、78千円の予算となっております。馬っぶの作成や小淵沢中学校・小学校・保育園と連携を図りながら、馬のまちこぶちさわを知ってもらうための機会の創出を計画しております。

資料11ですが、地区の特性を活かしながら、地域住民総参加型の各種事業を通じて、地域連帯に支えられる活力ある地域づくりを推進しており、その活動に対する各地区への補助金となっております。

資料12ですが、土嚢袋や砂利・砂等を各地区の要望に応じ、予算の範囲内で購入し配布している事業です。

最後に資料13ですが、地域委員会の会議費、お茶代や地域委員会だよりの印刷、市政報告会へのマイクロバスの運転手代の予算となっております。

以上が平成31年度の予算使途提案事業の説明となります。

御審議をよろしくお願いいたします。

(議長)

ただ今、説明が終わりました。この件に関して何か御質問等がありましたらお願いいたします。

(委員)

前回の会議において各団体の説明を受け、適正に割り振られているのでいいと思います。

(委員)

この13事業の団体以外から補助要望されている団体はありますか。

(事務局)

ございません。

(議長)

では、平成31年度地域委員会使途提案事業予算については、原案どおり決定します。

それでは、(3)議題の「市政報告会の活性化」について、提案があれば今回の会議において、意見を出してもらいたいと思います。

(事務局)

欠席している委員から、市政報告会の活性化について、まとめたものがメー

ルできましたので、読み上げます。

市政報告会において所信表明演説のようなものを読み上げている。もうすでに議会で説明をしているので、要約版か詳細版を事前に配布することで、もっと市長と Face to face で説明を聞き、議論ができるような市政報告会にしたいことと、講演会についても著名人ではなく、地域委員の自己研鑽の研修制度を設けて欲しい。また講演については、地元地方大学教授、講師など学識経験者による専門的な講演か優良市町村の首長などの有識者による成功経験談を要望したい。

(委員)

市制報告会についての意見はありません。絶対に市長の表明は、やるべきである。

(委員)

市政報告会の回数が、年間4から5回、開催する必要があるかどうか検討して欲しい。例えば、上半期、下半期に1回ずつの2回程度の開催してもいいのではないのでしょうか。

また、文面をそのまま読むのではなく、その中で市政の重要施策を説明していただきたい。

市政報告の後の講演会もいいのですが、市の施策をどう取り組んでいるのかの勉強会を開催して欲しい。例えば、指定管理で利用率を上げる方法等の議題を取り上げて欲しい。

(委員)

市政の現状、流れ等を把握できるいい機会ではありますが、もう少し簡素化して報告をしてもらいたい。しかし、今後の活動に必要であると思いますので、“継続を望みます。”

講習会については、身近に感じられる講演会を開催してもらいたい。

(委員)

市制報告会に行った人にしか内容が分からない。皆さんに伝達されていないので、もったいない。

非常にいい先生を呼んで講演されていますが、指定管理の問題等を話題として取り上げて欲しい。

(委員)

市制報告会の市長の話は、棒読み状態で話しが長いため、要約して質問を受

ける方法をとって対応をお願いしたい。

講演会については、有名な先生を聞いて、今後の地域委員会には役に立たないと思われるため、身近な話題の講演を開催して欲しい。

(委員)

市長の報告は、ルーティンワーク報告会である。ルーティンワークの報告も重要ですが、当該年度の市の重要な事業計画を教えて欲しい。また、実施状況や問題等を報告してもらいたい。市長は決意をもって話しをしていただきたい。

講演会はなかなかいいと思います。キースヘリングの中村さんの講演は最高でした。引き続き業績を上げた人の話しを聞きたい。

(委員)

市政報告会は地域委員会のためにあるのか、一般の人も含めて対象かどうか教えていただきたい。また、講演会も誰を対象にしているのか知りたい。

また、年4回あるなら、2回を講演会。あとの2回を地域委員会の研修にするのがいいと思います。

予算の話しの際に、質問をしたくても議会の承認を得ているため、市民の声を聞いてもらえる場所を設けて欲しい。

(委員)

地域委員の役割は、どこまでの権限をもっているのか分かりません。

また市長の話は長いですが、生で聞けるのでいいと思います。

基調講演については、市で何かあった人の声を聞ける機会があればいいと思う。

地域委員会の役割は、今こういう風に決まっている、なっていることを受け止めて知ることだと思っております。

(委員)

どのように計画が推進されているのか詳しく知らせて欲しい。

市長の話しが長いと思われるので、簡潔に話をしていただき、政策についての説明もお話をしていただきたい。

講演については、役に立つし興味深いものだと思います。また、小淵沢・北杜市の活躍されている人の話しを聞きたい。

そして、活性化している地域の話しを聞くのもいいことだと思います。

(委員)

報告会は本当に大切だと思います。また講演会もありがたいです。

しかし課題としては、上辺だけの言葉だけの報告会になっている。



推進していますとかだけでなく、問題点も言って欲しいと思います。  
講演会はいいと思います。しかし身近な人の講演を開催して欲しいと思います。

(会長)

まず市長は、重点的に話しをして欲しい。  
また講演については、身近で個人的に名を馳せた人の話しを聞きたい。

(事務局)

地域委員会の活性化の報告につきましては、1月末日までに各地域委員会ごとに書面で提出して欲しいとの趣旨がありますので、要望や意見をまとめ、次回の地域委員会の時に委員さんにお渡ししながら、最終案をまとめていきたいと思えます。

(議長)

それでは(4)議題の「その他」に移りたいと思います。  
地域委員会会長宛に、新北杜市建設計画の変更についての報告がありました。  
北杜市地域委員会設置条例 第5条 第1項 第1号の規定では、新北杜市建設計画を変更するときは、地域委員会の意見を聞くとされています。今回の変更については、法改正に伴う期間延長であって、施策の内容の変更を伴わないことから、条例の規定に基づき意見聴取を省略し、文書で報告をもって地域委員会に対する内容説明としたいとのことでした。そこで、お手元の資料により事務局から新北杜市建設計画の概要について説明をいただきたいと思えます。

(事務局)

新北杜市建設計画の資料により趣旨等を説明  
法律改正により期間の延長がありました。当初は合併特例債を借りられる期間は10年間でしたが、東日本大震災の影響により5年延長されました。さらに、法律改正により5年間延長され、平成37年まで借りられるようになりました。  
そこで、北杜市地域委員会設置条例においては、地域委員会の意見を聞くとなっておりますが、今回の計画変更は、法律改正によるものの変更のみですので地域委員さんに説明をし、承認をいただきたいと思えます。

(議長)

今の説明に対し、御質問はございますか。

(委員)

市の提案に対して地域委員会で承知をしてくださいということですか。

(事務局)

主要施策の変更はなく、統計資料の変更のみですので、承認をいただきたいということです。

(議長)

他に、御意見ございますか。

(事務局)

地域委員会だよりは、年度末に編集をしています。

編集方法については、事務局が会長と相談しながら編集したいと考えております。

(議長)

事務局から地域委員会だよりの編集方法についての提案がありました。どうでしょうか。

(委員)

例年どおりでいいと思います。

(議長)

ないようですので、これで協議事項を終わらせていただきます。御協力有難うございました。

閉会

(事務局)

長時間の審議お疲れ様でした。これで、平成30年度第5回北杜市小淵沢地域委員会を閉会します。

閉会時間 午後5時40分